



家庭用

コーヒーメーカー

ドリップタイプ

取扱説明書

保証書つき

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

品番

ACE-M型

もくじ

安全上のご注意 …………… 2

各部のなまえと付属品 ……… 6

コーヒーをつくる

はじめて使うとき
しばらく使わなかったとき…… 8

ホットコーヒーをいれる
アイスコーヒーをつくる
(ドリップ) …………… 10

お手入れ

お手入れする …………… 16

こんなときは

故障かな?と思ったら …… 18

その他

消耗品・別売品の
お買い求めについて ……… 19

仕様…………… 19

保証とサービスについて … 19

連絡先…………… 裏表紙

ご意見をお寄せください。

<http://www.tiger.jp/>

日本国内 100V 専用

交流 100V 以外の電源では
使用できません。

安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。



- ◆ここに表した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
- ◆本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分して説明しています。

警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷^{*1}を負うことが想定される内容を示します。

注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害^{*2}を負うことが想定されるか、または物的損害^{*3}の発生が想定される内容を示します。

*1 重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



△記号は、警告、注意を示します。具体的な注意内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。



○記号は、禁止の行為であることを示します。具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を示します。具体的な指示内容は図記号の中や近くに絵や文章で表します。

警告



改造はしない。
修理技術者以外の方は分解したり、修理をしない。

（サーバーふたは、お手入れ時に分解できません。）

火災・感電・けがの原因。



交流100V以外では使用しない。
（日本国内100V専用）

火災・感電の原因。



定格15A以上のコンセントを単独で使用する。

他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。



電源コードは、破損したまま使用しない。
また、電源コードを傷つけない。

（加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど）
火災・感電の原因。



差込プラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。

火災の原因。



差込プラグは根元まで確実に差し込む。

感電・ショート・発煙・発火のおそれ。



電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因。



ぬれた手で、差込プラグの抜き差しをしない。

感電やけがをするおそれ。



フィルターやコーヒーサーバーをセットしない状態で使わない。

やけどや故障のおそれ。



子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない。

やけど・感電・けがをするおそれ。



使用中や使用後しばらくは湯出口・本体ふた・蒸気口・フィルターなどの高温部に触ったり、顔などを近づけない。

やけどをするおそれ。特に乳幼児には、さわらせないように注意する。



本体は、水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電のおそれ。

警告

- 必ず実施** 異常・故障時には、直ちに使用を中止する。
そのまま使用すると、火災・感電・けがのおそれ。
〈異常・故障例〉
 - ・ご使用中、電源コード、差込プラグが異常に熱くなる。
 - ・電源コードを折り曲げると通電したり、しななかったりする。
 - ・水タンクや本体から水もれする。
 - ・その他の異常や故障がある。
 すぐにプラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する。

注意

- プラグを抜く** 使用時以外は、差込プラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。
- 必ず実施** 必ず差込プラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火するおそれ。
- 禁止** タコ足配線はしない。
火災のおそれ。
- 禁止** 不安定な場所、熱に弱いテーブルや敷物などの上では使わない。
火災や、テーブル・敷物の変色・変形の原因。

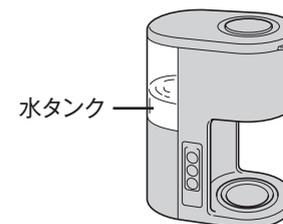
- 禁止** 壁や家具の近くでは使わない。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因。キッチン用収納棚などを使うときは、中に蒸気がこもらないように注意する。
- 禁止** 倒したり落としたりぶついたり、強い衝撃を与えない。
故障や本体・本体ふた・水タンク・コーヒーマシンなどが破損してけがをするおそれ。
- 禁止** 専用のコーヒーマシン以外では使わない。
お湯があふれて、やけどや故障するおそれ。また、テーブルや敷物を汚す原因。
- 禁止** 抽出中にコーヒーマシンをはずしたり、サーバーレバーを触らない。
コーヒーがこぼれてやけどや、テーブル・敷物を汚す原因。
- 禁止** コーヒーマシンをのせたまま本体を動かさない。
やけどやけがの原因。
- 禁止** コーヒーマシンを直接火にかけたり、電子レンジで使わない。
破損して、やけどやけがの原因。
- 禁止** コーヒーマシンを冷蔵庫や冷凍庫に入れない。
破損して、けがの原因。
- 必ず実施** 水タンクを本体にセットするときは、確実にセットしてください。
セットが不十分な場合、蒸気が多量に発生して、やけどや水タンクの変色・変形のおそれ。

- 禁止** 水タンクに水が入っていない状態でのカラダキはしない。
故障や火災の原因。
- 必ず実施** 続けて使用するときには、本体が冷めるまで(約10分)待つ。
すぐに水を入れたり、動かしたりすると、蒸気が噴出してやけどをするおそれ。
- 禁止** 抽出中に本体ふたを開けない。
やけどや故障の原因。(通電がOFFになる。)
- 禁止** 本体を丸洗いや、本体内部や底部に水を入れたりしない。
ショート・感電のおそれ。
- 必ず実施** お手入れは冷えてから行う。
高温部にふれると、やけどのおそれ。

末永くご使用いただくためのご注意

- 火気の近くでは使わない。
変形・故障の原因。
- 業務用として使わない。
故障の原因。
- 水タンクに水以外のものを入れない。
故障の原因。
- 指定の大きさのペーパーフィルター以外は使わない。→P.6
抽出がうまくいかない・故障・コーヒーがあふれる原因。

- 水タンクに水を入れてセットした後は、水タンクをはずさない。
本体内にたまった水が逆流して、水もれや故障の原因。
- 水タンクに水を入れたまま放置しない。
故障や変色・におい・腐敗の原因。



- コーヒーマシンを丸洗いはしない。
すき間に水がたまって、さびや変形の原因。
- フィルター・水タンク・散水板・コーヒーマシンは、使うたびにお手入れする。
においの原因。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、よりこまめにお手入れする。
本体内部にカルシウム分が付着しやすくなったり、また、付着したカルシウム分がはがれて本体内部のお湯の出口をふさぐなど、故障の原因。
- コーヒーマシンをななめに傾けたり、サーバーレバーを押したまま、持ち運びしない。
内容物がもれて、やけどのおそれ。
- コーヒーマシンを落とさない。
保温効果が下がる原因。

はじめて使うとき しばらく使わなかったとき

お手入れして、ドリップで本体内を洗浄。
コーヒーマーカーをきれいにするのが、
おいしいコーヒーツクリの第一歩！

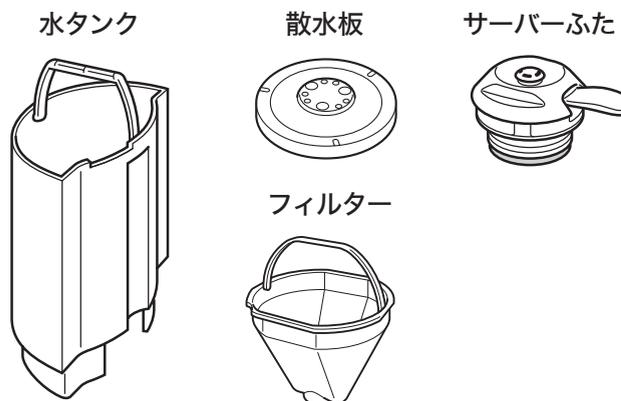
1 サーバーふたをはずす。



2 本体以外の部品は、水洗いする。 コーヒーマーカー内側は、水ですすぐ。→P.17

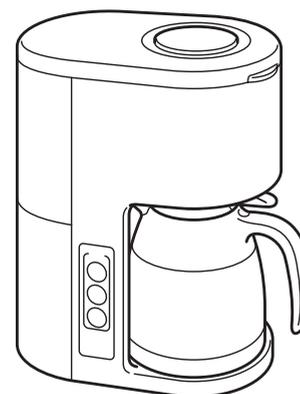


<丸洗いできる部品>



3 本体内を洗浄するために、 1～2回ドリップする。 →P.10～15

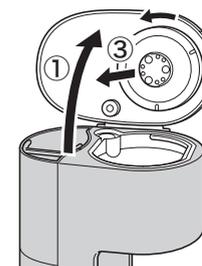
水は、水タンクの☞の目盛「7」まで入れる。
(コーヒー粉やペーパーフィルターは、セットしない。
ドリップ後のお湯はすてる。)



散水板のはずしかた・つけかた

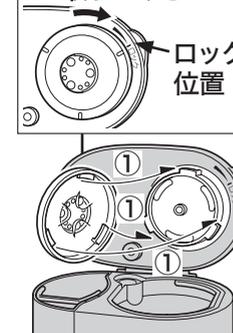
◆はずしかた

②左に回して
はずす

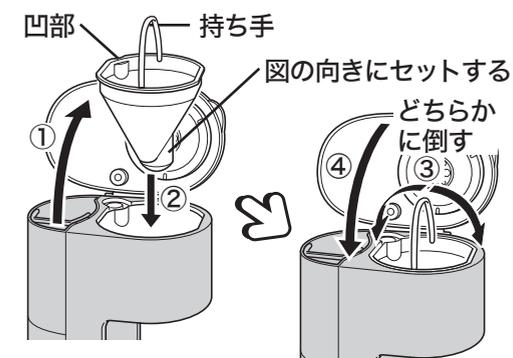


◆つけかた

②右に回して
取りつける

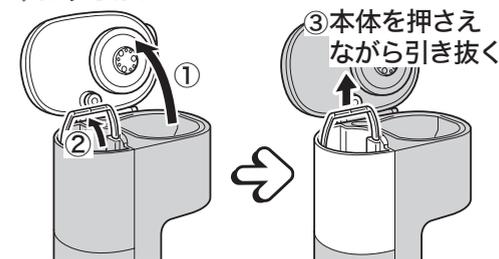


フィルターのつけかた

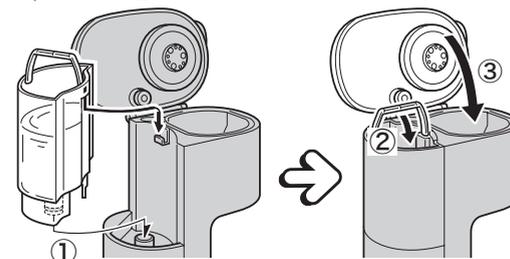


水タンクのはずしかた・つけかた

◆はずしかた



◆つけかた



ご注意

- ◆コーヒーマーカーを丸洗いしない。
- ◆水タンク以外に水を入れない。

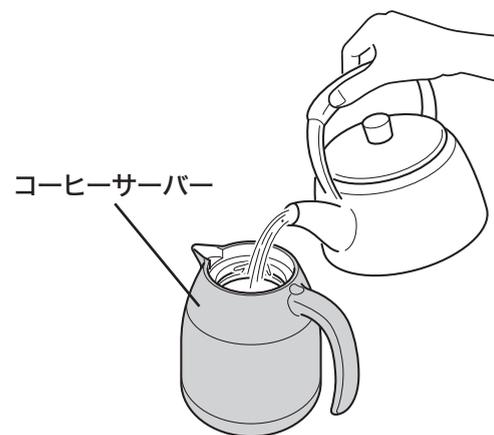
ホットコーヒーをいれる アイスコーヒーをつくる——ドリップ

コーヒーサーバーが煮つまりを防いで、
おいしさをキープしてくれるのね。



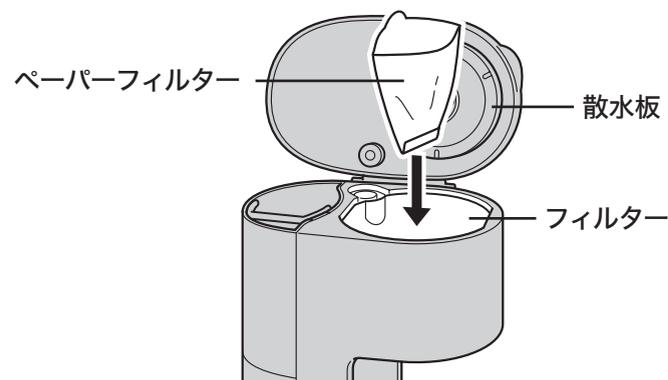
1 コーヒーサーバーに熱湯を
約半分まで入れ、
1～2分温める。
(ホットコーヒーのときのみ)

保温効果を高めるためです。
温まったら、お湯をすてる。



2 フィルターを本体につける。
→P.9

3 ペーパーフィルターを
フィルターにセットし、
散水板をセットする。
→P.9

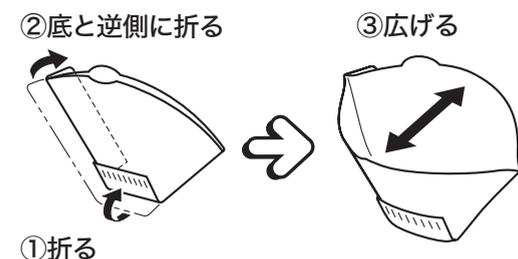


4 付属の計量スプーンで、
コーヒー粉を
ペーパーフィルターに
入れて上面をならす。

【アイスコーヒーをつくるとき】
アイス用コーヒー粉を使います。



ペーパーフィルターの折りかた
底と横のミシン目を、約1cm折り曲げます。



コーヒー粉を入れる目安

- ◆コーヒー粉はお好みにより加減する。
- ◆カップ数より少ない量はつからない。

ホットコーヒー

カップ数	コーヒー粉 (計量スプーンすり切り)	
	☕ マグカップ 約180mL	☕ コーヒー カップ 約120mL
2カップ	3杯	2杯
3カップ	4.5杯	3杯
4カップ	6杯	4杯
5カップ	7.5杯	5杯
6カップ	—	6杯
7カップ	—	7杯
8カップ	—	8杯

アイスコーヒー

カップ数	☕ 1カップ 約60mL
	2カップ
3カップ	3杯
4カップ	4杯
5カップ	5杯
6カップ	6杯
7カップ	7杯
8カップ	8杯

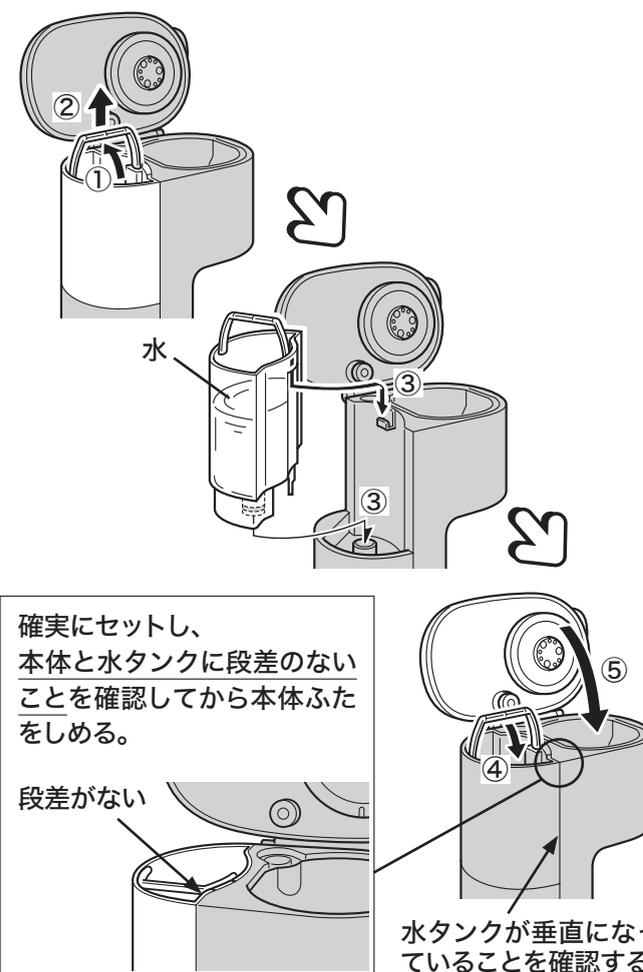
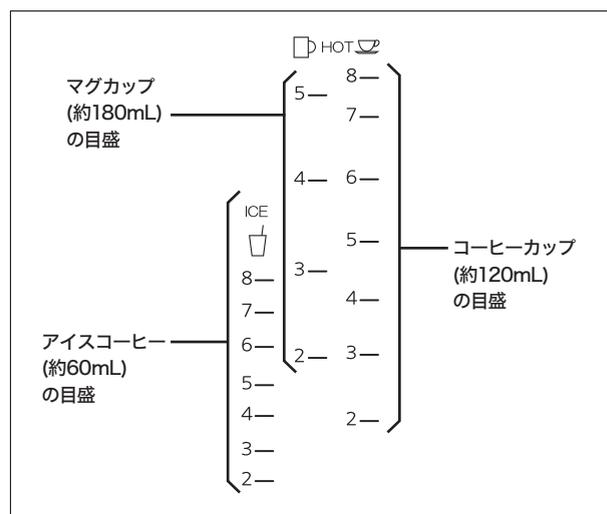
ご注意

- ◆連結弁にコーヒー粉などの異物が入らないようにする。
連結弁の動きが悪くなり、お湯があふれたり、蒸気もれが発生してやけどのおそれ。

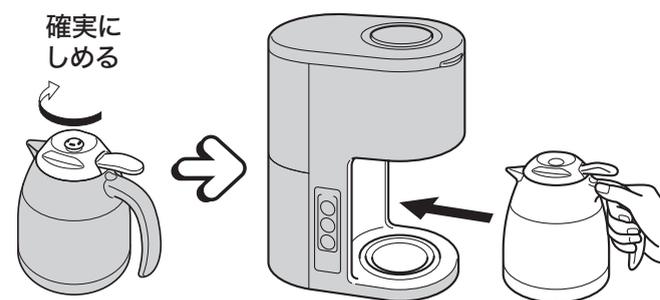
ホットコーヒーをいれる アイスコーヒーをつくる ——ドリップ

5 水タンクをはずし、 水タンクに水を入れ、 本体ふたをしめる。

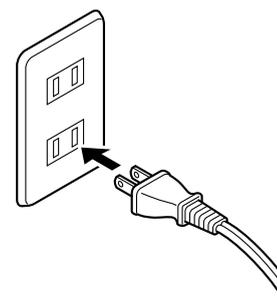
つくるコーヒーのカップ数に応じた目盛まで水を入れます。
(☑の目盛「8」を超えて、水を入れない。コーヒーサーバーからコーヒーがあふれるおそれ。)



6 コーヒーサーバーを本体に 確実に正しくセットする。



差込プラグをコンセントに 差し込む。



水タンクについて

- ◆水タンクには、水を入れる。お湯や熱湯を入れてドリップすると、故障の原因になります。
- ◆水タンクは、必ず本体からはずして水を入れる。本体にセットしたまま水を入れると、水管に水が流れ込み、水量が多くなります。

ご注意

- ◆水タンクは本体に確実にセットする。セットが不十分な場合、蒸気が多量に発生して、やけどや水タンクの変色・変形のおそれ。
- ◆本体ふたは、必ずしめる。しめないと、電源が入らない原因。
- ◆サーバーふたは必ずしめる。コーヒーがこぼれる原因。

ホットコーヒーをいれる アイスコーヒーをつくる

—ドリップ

8 スタートキーを押して、ランプの点灯を確認する。

お好みにあわせて、
コーヒーの濃さ(3種 **うすい** **ふつう** **こい**)を
選べます。

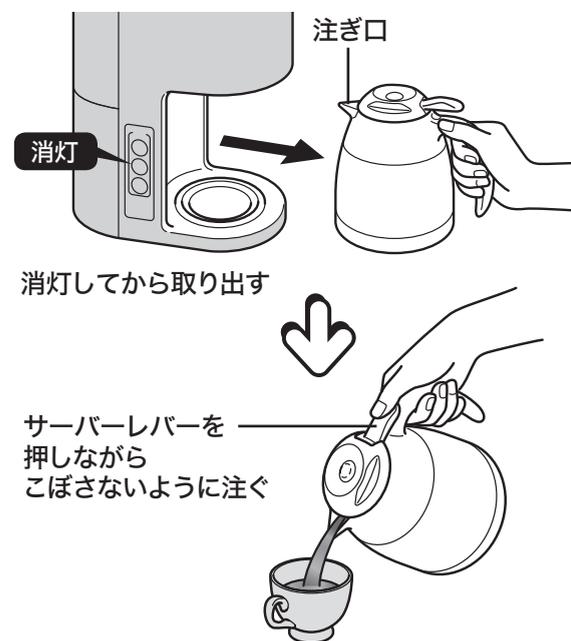


9 水タンクの水がなくなり、ピーピーと音が鳴ってランプが消灯したら、コーヒーを注ぐ

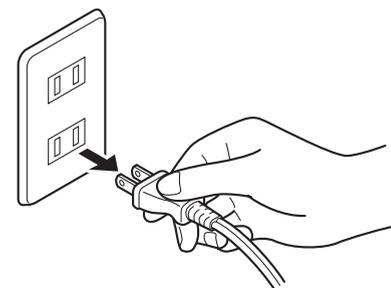
お湯や蒸気が完全に止まってから取り出し、サーバーレバーを押しながらカップなどに注ぐ。

- 【アイスコーヒーをつくる時】
- ①サーバーふたをはずし、
サーバーに氷を入れて、
かきまぜながら冷やす。
(氷は抽出後に入れる。)
 - ②サーバーふたをつけて、
サーバーレバーを押しながら注ぐ。

氷
(大きい氷は
小さくする)



10 差込プラグをコンセントから抜く。



熱めのコーヒーをお好みの方は

あらかじめ熱湯などで温めておいたカップに注ぎます。

コーヒーの温度について

コーヒーサーバーが保温しますが、時間経過とともに冷めていきます。

ドリップ後のコーヒー粉は取り出す

冷めてから、本体ふたをあげ、フィルターをはずし、ペーパーフィルターごと取り出します。

続けてつくる時

- ①本体が冷めるまで(約10分)待つ。
- ②必ず先にコーヒーサーバーをセットしてから、再度、ドリップする。

できあがり時間の目安

うすい	約6分～14分半
ふつう	約6分半～15分
こい	約9分～25分

※できあがり時間は、室温・水量・コーヒー粉の量・コーヒーの濃さなどにより変わります。

ご注意

- ◆抽出中にコンセントは抜かない。間違えて抜いた場合は、スタートキーを押さないとドリップされません。
- ◆抽出中に本体ふたを開けない。やけどや故障の原因。(通電がOFFになる。)
- ◆サーバーふたをしめた状態でも、コーヒーがこぼれるため、コーヒーサーバーを傾けない。
- ◆コーヒーサーバーを傾けた状態で、サーバーレバーを離さない。サーバーふたの内部に少量のコーヒーが残り、持ち運ぶときなどにコーヒーがもれるおそれ。
- ◆水タンクが目盛「8」を超えて水を入れない。ドリップ中に、コーヒーがサーバーからあふれて、やけどをするおそれ。

お手入れする

こまめにお手入れして、
清潔・長持ち！

- ◆差込プラグを抜き、冷えてからお手入れします。
- ◆洗剤でお手入れするときは、台所用合成洗剤（食器用・調理器具用）を使います。
※洗剤分が残っていると、樹脂などの劣化・変色の原因になりますので、十分に洗い流してください。
- ◆スポンジ・歯ブラシ・布はやわらかいものを使います。

お湯の出具合が悪くなったとき クエン酸を使って、本体内を洗浄する

※定期的なクエン酸洗浄をおすすめします。

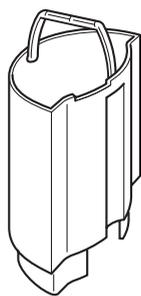
- ① コーヒーサーバーを本体にセットする。
→P.12
- ② フィルターを本体にセットする。（ペーパーフィルター・コーヒー粉はセットしない。）→P.9
- ③ 水タンクにクエン酸 約10g（大さじ1杯）を入れ、の目盛「7」まで水を入れてまぜる。
- ④ **「うすい」と「ふつつ」**を2秒以上長押しする。
（「うすい」と「ふつつ」のランプが点灯）
- ⑤ ピーピーピーと鳴って、クエン酸洗浄が自動的に止まります
- ⑥ 約10分たったら、水タンクに残ったクエン酸水をすてて、すすぐ。
- ⑦ コーヒーサーバーのお湯をすてる。
- ⑧ クエン酸水のお湯をとるために、水タンクのの目盛「7」まで水を入れ、**「うすい」**を押して1～4回ドリップする。→P.12
（ペーパーフィルター・コーヒー粉はセットしない。ドリップ後のお湯はすてる。）

使うたびに 洗う部品

フィルター 水タンク サーバーふた



散水板



※汚れてきたら、右記P.17のように
はずして洗う。

- 1 洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジや歯ブラシを使って洗い、水ですすぐ。
- 2 サーバーふたを振って、穴から水を抜く。
- 3 乾いた布で水分をふき取り、十分に乾燥させる。

ご注意

- ◆シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- ◆食器洗浄機や食器乾燥器、熱湯などは使わない。
- ◆コーヒーサーバーを丸洗いしない。

コーヒーサーバー



- 1 内側は、洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジや歯ブラシを使って洗い、水で十分にすすぐ。汚れが目立ってきたら、クエン酸（約10g）をぬるま湯でうすめてコーヒーサーバーに入れ、2～3時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で十分にすすぐ。

- 2 外側は、洗剤をうすめたお湯に布をひたし、かたくしぼってふく。

- 3 乾いた布で、水分・洗剤分をふき取り、十分に乾燥させる。

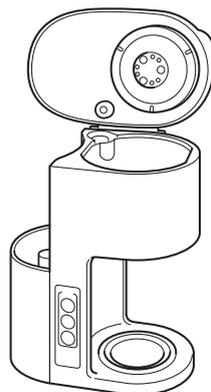
コーヒの汚れには、ステンレスボトル用洗剤TAA-A100（別売品）のご使用をおすすめします。

汚れるたびにお 手入れする箇所

本体外側

本体内側

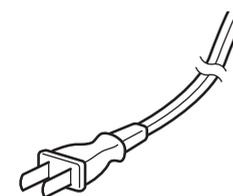
- 1 本体内側は、お湯に布をひたし、かたくしぼってふく。（洗剤は、使わない。）
- 2 本体外側は、洗剤をうすめたお湯に布をひたし、かたくしぼってふく。
- 3 乾いた布で、水分・洗剤分をふき取り、十分に乾燥させる。



電源コード

差込プラグ

乾いた布でふく。



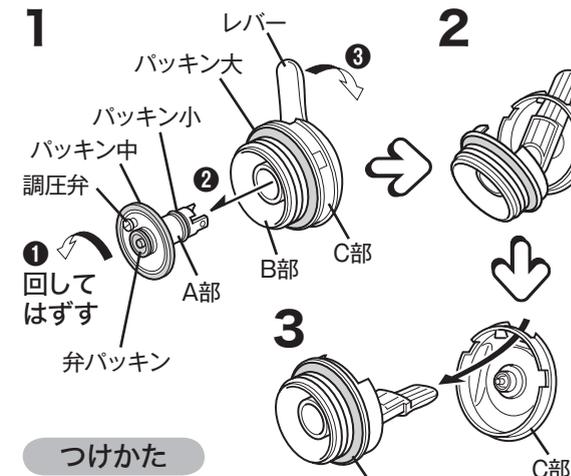
ご注意

本体を水につけたり、水をかけたりしない。

サーバーふたの はずしかた・つけかた

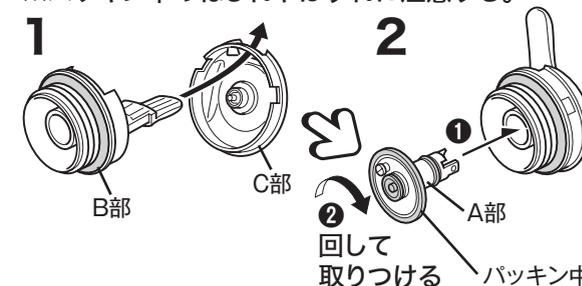
はずしかた

※必ず A 部をはずしてから B・C 部をはずす。



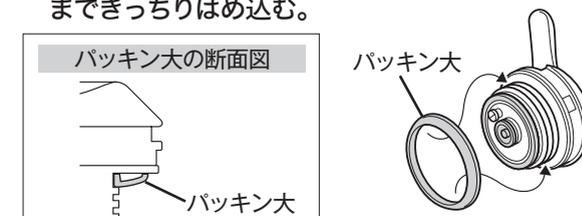
つけかた

〈A 部を取り付けるとき〉
「カチッ」と音がするまでまわして取りつける。
※パッキン中のねじれやはずれに注意する。



ご注意

- ◆パッキン中がはずれたときは、注意して奥まできっちりはめ込む。
- ◆パッキン大がはずれたときは、向きに注意して奥まできっちりはめ込む。



- ◆弁パッキンとパッキン小、調圧弁は、はずさない。故障の原因。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、ご確認ください。

こんなとき	ご確認ください	直しかた	参照ページ
スタートキーを押しても、ランプがつかない。	差込プラグをコンセントに、差し込んでいますか。	差込プラグをコンセントに、差し込む。	12・13
	スタートキーを確実に押していますか。	スタートキーをゆっくり確実に押す。	14・15
お湯が出ない。	水タンクに水が入っていますか。	水タンクに水を入れる。	12・13
	水タンクがセットされていますか。	正しく確実にセットする。	12・13
	湯出口の先端に汚れが付着していませんか。	お手入れする。	16・17
お湯がにおう	—	クエン酸を使って本体内を洗浄する。	16
お湯の出具合が悪い。 (時間がいつもより長くなる)	—	クエン酸を使って本体内を洗浄する。	16
コーヒーサーバーからあふれる。	サーバーふたが目詰まりしていませんか。	サーバーふたをお手入れする。	17
	水タンクに水を入れすぎていませんか。	水タンクの☒の目盛「8」を超えて、水を入れない。	12・13
	フィルター・散水板をセットしていますか。	フィルター・散水板を確実にセットする。	9
「ピピピ」と音が鳴り、ドリップできない。	本体ふたを正しくしめていますか。	本体ふたをしめてください。	12・13
水タンクに水が残った状態で「ピーピーピー」と音が鳴り、ドリップランプが消灯した。	水タンクに水を入れすぎていませんか。	水タンクの☒の目盛「8」を超えて、水を入れない。	12・13
	できあがりのコーヒーの量が少なくありませんか。	クエン酸を使って本体内を洗浄する。	16
コーヒーサーバーからコーヒーが注げなくなった。	サーバーふたB部の穴にコーヒー粉が詰まっていますか。	サーバーふたをお手入れしてください。	17
コーヒーサーバーの内側が黒く変色している。	コーヒーサーバーの内側にコーヒー渋が詰まっていますか。	コーヒーサーバーをお手入れする。	17

こんなとき	理由	参照ページ
コーヒーがぬるい。 (保温が効いていない)	コーヒーサーバーが保温しますが、時間経過とともに冷めていきます。抽出したコーヒーの量が少ない(2～4カップ)と冷めやすくなります。	15
樹脂部品にキズ(欠け)のように見える箇所がある。	樹脂成形時に発生する跡で、使用上の品質に支障はありません。	
樹脂などのにおいがする。	使いはじめのうちは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。	

消耗品・別売品のお買い求めについて

お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、消耗品・別売品のご購入専用ホームページでお買い求めください。

◆樹脂部品(傷んできたとき)

熱や蒸気にふれる樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があるので交換してください。(有償修理)

◆サーバーふたのパッキン大

◆サーバーふたのパッキン中

◆水タンクのパッキン (紛失したり、傷んできたとき)

汚れやにおいがひどくなったり、破損したときは、上記でお買い求めください。

仕様

電源	100V 50-60Hz	
消費電力(W)	750	
満水容量*(L)	1.08	
抽出方式	ドリップ式	
外形寸法*(cm)	幅	28.0
	奥行	17.4
	高さ	34.5
質量*(kg)	2.8	
コードの長さ*(m)	1.25	

*印は、おおよその数値です。

保証とサービスについて

修理を依頼される前にまず「故障かな？と思ったら」→P. 18をご覧ください。それでも不具合の場合は、下記に基づき、お買い上げの販売店にご相談ください。

1保証書の内容のご確認と保管のお願い

保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、「販売店印およびお買い上げ日」をご確認の上、内容をよくお読みになり、大切に保管してください。

2保証期間はお買い上げの日から1年間です。(消耗品は除きます。)

保証書の記載内容に基づき修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

3修理を依頼される時

保証期間内 … おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。

保証期間を過ぎているとき … まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ご相談の際、次のことをお知らせください。
①製品名 ②品番 ③製品の状況(できるだけくわしく)

4コーヒーメーカーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5修理料金とは

修理料金とは、おもに技術料と部品代で構成されています。

技術料 … 不具合内容の原因を診断する作業、故障箇所を修復する作業(修理および部品交換・調整・修理後の点検など)の料金です。

部品代 … 製品の修復に使った部品の代金です。

6その他製品に関するお問合せ、ご質問がございましたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口(裏表紙)までご連絡ください。

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上のために、一部予告なく変更することがあります。